

## 生命の神秘

飼育員・なかもと

ある日、後輩の獣医師が「園内ですごいの見つけたので爬虫類舎に置いときました！」と嬉しそうに話しかけてきました。珍しいからと言ってゴキブリを置いていった過去があるので、また謎の虫でも捕まえてきたのかと期待せずに見に行ってみると・・・なんだこのニホントカゲ!!! 生まれつきなのか、自切(尻尾切り)の再生過程でこうなったのか、なんとも不思議な姿。今後、レントゲンを撮ったり、飼育しながら色々と調べてみようと思います。動物の異常を見世物にはしたくないので展示はしませんが、気になる方は爬虫類のスタッフに声をかけると見られるかも!?



## シマシマしっぽの君の名は

飼育員・にしの

家から動物園へ車で向かっている途中、しっぽがしま模様の動物が道路を横切りました。これまではタヌキやハクビシンであることが多かったのですが、今回は違いました。このしっぽがしま模様の動物、みなさんは分かりますか？

正解は「アライグマ」です。

ここで、実際に出会ったときにタヌキとアライグマを見分けられるよう、違いを確認してみましょう。



タヌキ

### 耳の周り

黒い

白い

### 目の周りの黒い部分

離れている つながっている

### しっぽの模様

模様無し

しましま



アライグマ

このように見比べてみると、似ているようで違いのあるタヌキとアライグマ。もっと知りたい方は、ぜひ動物園でじっくり観察してみてください。ほかにも新しい違いが見つかるかもしれません。

## 感謝！みなさまのおかげです

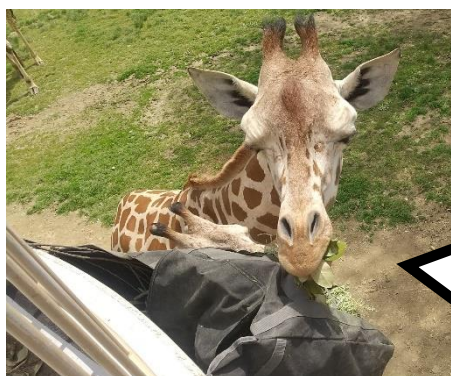
飼育員・かわそえ

アマゾンほしいものリストで頂いたヘイバッグとヘイネット。この中にエサとなるルーサンを入れて吊るしてあげると、キリンたちは少しずつ時間をかけて食べてくれます。また、キリンにとっては欠かせない枝葉の寄付も頂いております。長い舌を使って上手に葉を食べています。

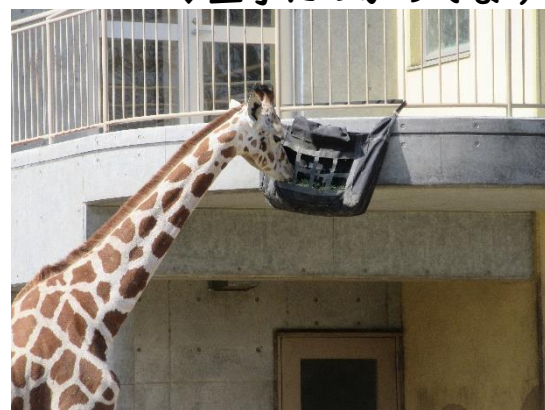
これらは動物園という限られた場所の中で、退屈な時間を少しでも減らすのに大いに役立っています。皆様のおかげでキリンたちの暮らしがとても豊かになってきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

そして今後ともよろしく申し上げます！

↓上手につかっています



寄付で頂いた  
ヘイバッグに  
頂いた枝葉を  
詰めました。  
感謝のコラボ！



## 日々進化するビーバーのロッジ

飼育員・みやた

ビーバーは木をかじって倒し、枝や泥で丈夫な巣「ロッジ」を作ります。上に乗ってもびくともしないほど頑丈です！かみね動物園でも、飼育員は枝を用意するだけで、後はビーバーにお任せ。樹皮を食べ、残った枝を巣材にして器用に組み上げます。土をロッジの補強に使用するため、土を掘って一晩で大きな穴が出来ていることも……。衛生面上、巣材は定期的に撤去していますが、そのたびに作り直され、日々修正・増築されるロッジの変化を、ぜひお楽しみください。

